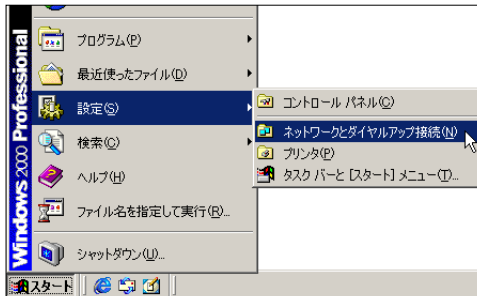
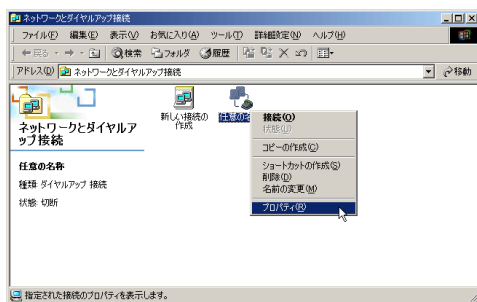


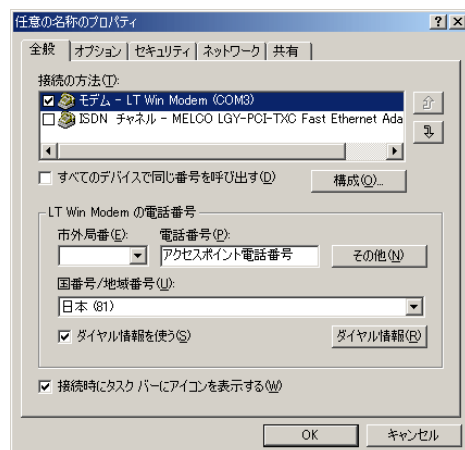
- 1 [スタート] ボタンをクリックし [設定] メニューの [ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリックします。



- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] 画面が表示されますので、設定した名称の接続アイコンを右クリックし [プロパティ] メニューを選択します。



- 3 [任意の名称のプロパティ] 画面が表示されますので以下の設定が行われていることを確認します。



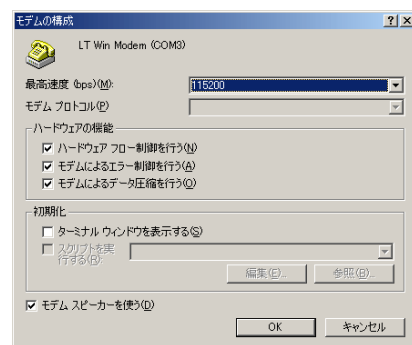
- ◆ 接続の方法：ご利用されるモデム
- ◆ すべてのデバイスで同じ番号を呼び出す：チェックしない

ご利用されるモデムの電話番号：

- ◆ 市外局番：空白

- ◆ 電話番号：アクセスポイント電話番号
- ◆ 国番号 / 地域番号：日本 (81)
- ◆ ダイヤル情報を使う：チェックする
- ◆ 接続時にタスクバーにアイコンを表示する：チェックする

- 4 [構成] ボタンをクリックし、[モデムの構成] 画面が表示されますので、以下の設定が行われているか確認し [OK] ボタンをクリックします。



- ◆ 最高速度 (bps)：任意
- ※ モデムの通信速度の2倍程度が適当です。

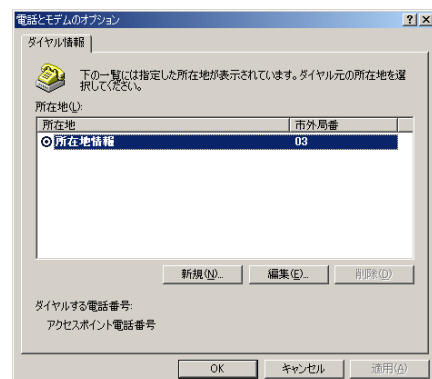
ハードウェアの機能：

- ◆ ハードウェアフロー制御を行う：チェックする
- ◆ モデムによるエラー制御を行う：チェックする
- ◆ モデムによるデータ圧縮を行う：チェックする

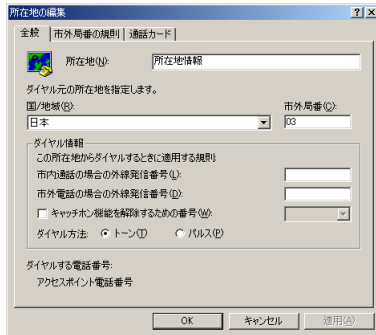
初期化：

- ◆ ターミナルウィンドウを表示する：チェックしない
- ◆ モデムスピーカーを使う：チェックする

- 5 [ダイヤル情報] ボタンをクリックし [電話とモデムのオプション] 画面が表示されますので、[所在地情報] が選択された状態で [編集] ボタンをクリックします。



- 6 [所在地の編集] 画面が表示されますので、以下の設定が行われているか確認し [OK] ボタンをクリックします。

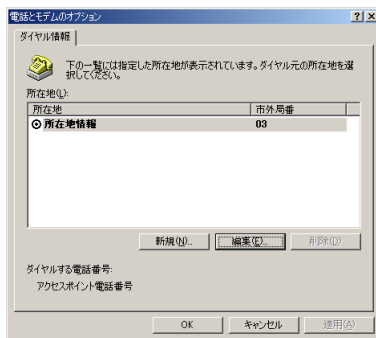


- ◆ 所在地：所在地情報
- ◆ 国 / 地域：日本
- ◆ 市外局番：ご利用の地域の市外局番

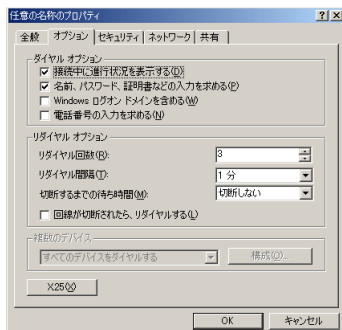
ダイヤル情報：

- ◆ 市内通話の場合の外線発信番号：空白
- ◆ 市外通話の場合の外線発信番号：空白
- ◆ キャッチホン機能を解除するための番号：チェックしない
- ◆ ダイヤル方法：ご利用の回線種別を選択する

- 7 [電話とモデムのオプション] 画面に戻りますので [OK] ボタンをクリックします。



- 8 [オプション] タブをクリックし以下の設定が行われているか確認します。



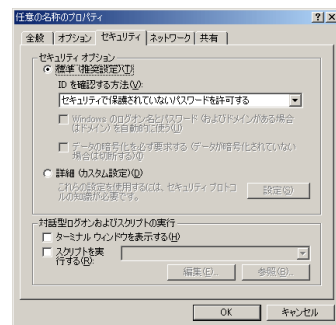
ダイヤルオプション：

- ◆ 接続中に進行状況を表示する：チェックする
- ◆ 名前、パスワード、証明書などの入力を求める：チェックする
- ◆ Windows ログオンドメインを含める：チェックしない
- ◆ 電話番号の入力を求める：チェックしない

リダイヤルオプション：

- ◆ リダイヤル回数：任意
- ◆ リダイヤル間隔：任意
- ◆ 切断するまでの待ち時間：任意
- ◆ 回線が切断されたら、リダイヤルする：チェックしない

- 9 [セキュリティ] タブをクリックし以下の設定が行われているか確認します。



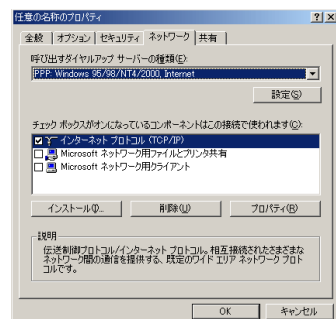
セキュリティオプション：

- ◆ 標準 (推奨設定)：選択する
- ◆ IDを確認する方法：セキュリティで保護されていないパスワードを許可する

対話型ログオンおよびスクリプトの実行

- ◆ ターミナルウィンドウを表示する：チェックしない
- ◆ スクリプトを実行する：チェックしない

- 10 [ネットワーク] タブをクリックし以下の設定が行われているか確認します。

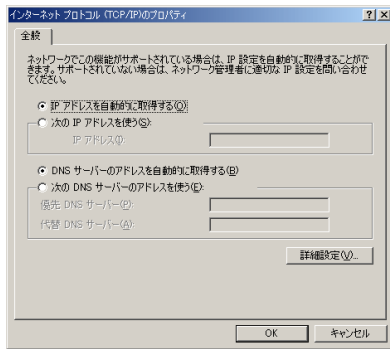


- ◆ 呼び出すダイヤルアップサーバーの種類：PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet

チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます：

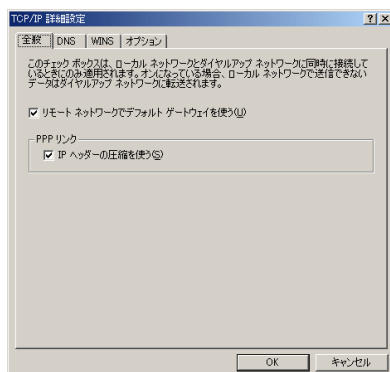
- ◆ インターネットプロトコル (TCP/IP)：チェックする
- ◆ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有：チェックしない
- ◆ Microsoft ネットワーク用クライアント：チェックしない

- 11 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択した状態で [プロパティ] ボタンをクリックし表示される [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ画面] が以下のように設定されているか確認します。



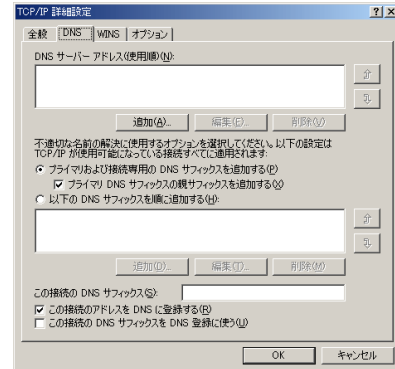
- ◆ IP アドレスを自動的に取得する：選択する
- ◆ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する：選択する

- 12 [詳細設定] ボタンをクリックし表示される [TCP/IP 詳細設定] 画面が以下のように設定されているか確認します。



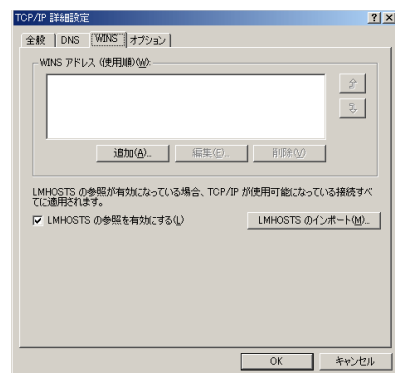
- ◆ リモートネットワークでデフォルトゲートウェイを使う：チェックする
- ◆ IP ヘッダーの圧縮を使う：チェックする

- 13 [DNS] タブをクリックし、以下の設定が行われているか確認します。



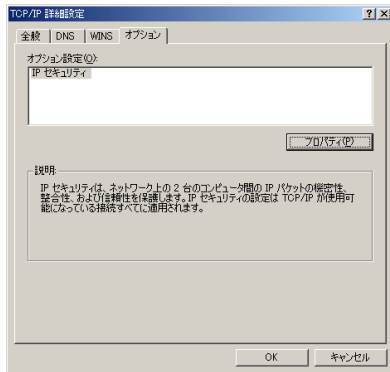
- ◆ DNS サーバーアドレス (使用順)：空白
- ◆ プライマリおよび接続専用の DNS サフィックスを追加する：選択する
- ◆ プライマリ DNS サフィックスの親サフィックスを追加する：チェックする
- ◆ この接続の DNS サフィックス：空白
- ◆ この接続のアドレスを DNS に登録する：チェックする
- ◆ この接続の DNS サフィックスを DNS 登録に使う：チェックしない

- 14 [セキュリティ] タブをクリックし以下の設定が行われているか確認します。



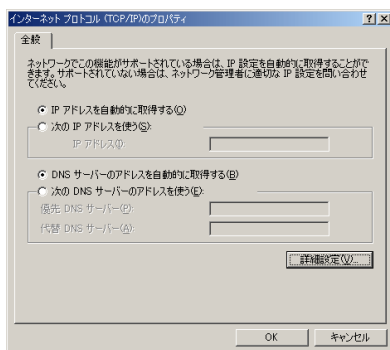
- ◆ WINS アドレス (使用順)：空白
- ◆ LMHOSTS の参照を有効にする：チェックする

- 15 [オプション] タブをクリックし以下の設定が行われているか確認し [OK] ボタンをクリックします。

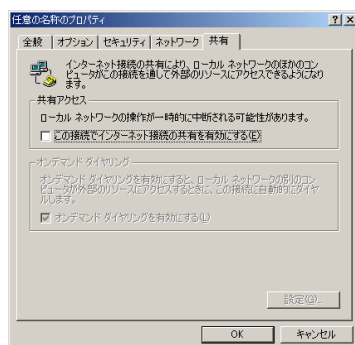


◆ オプション設定：IP セキュリティ

- 16 [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面に戻りますので [OK] ボタンをクリックします。



- 17 [共有] タブをクリックし以下の設定が行われているか確認し、[OK] ボタンをクリックします。



◆ この接続でインターネット接続の共有を有効にする：
チェックしない(任意)